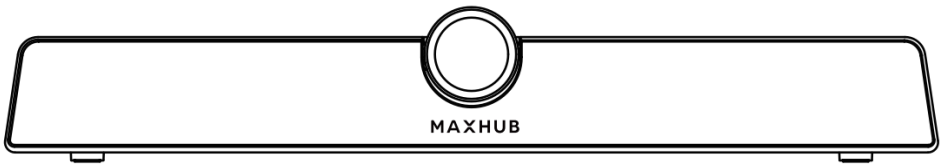
MAXHUB

UC S10 Pro



Sound bar Pro

ワイヤレスドングル（WT13M）対応版

ユーザーマニュアル

最新版はこちらよりご確認ください

更新日：2024 年 3 月 28 日

目次

安全上の警告・注意事項 2
<オプション>壁掛けについて 5
各部の機能 7
本機電源操作 8
　接続方法 8
リモコン 10
ワイヤレスドングル（WT02A）の説明 11
ワイヤレスドングル（WT13M）の説明 12
ワイヤレス画面共有・投影 15
　ワイヤレスドングルの使用方法 15
ホーム画面 24
　サイドバー 25
ホーム画面編集：レイアウト・壁紙・アプリの表示 26
クラウドドライブ：連携設定 35
ScreenShare：画面共有の設定 37
ホワイトボード機能 39
設定：Sound bar に関する設定 48

安全上の警告・注意事項

安全の為、本機をお使いになる前に次の事項を必ず遵守してください。火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故に繋がる恐れや、本機や周辺の物品に損害を与える恐れがあります。

設置に関する警告・注意事項

- 本機を傾斜のある場所、不安定なスタンド、壁掛け金具等に設置しないでください。けが、本機の故障等につながる恐れがあります。
- 直射日光が当たる場所や熱器具の近くに設置しないでください。本機の故障等につながる恐れがあります。
- 本機の上に重量物を載せないでください。本機の故障等につながる恐れがあります。
- 磁気を発生する機器の近くには設置しないでください。本機の故障等につながる恐れがあります。
- 本機の近くや上に液体を置いたり、液体をこぼしたりしないようにしてください。感電、本機の故障等につながる恐れがあります。
- 本機の重量に十分耐えられる安全な場所に設置してください。強度が不足すると製品が落下する恐れがあります。
- ゴミや埃、粉塵が多くある場所に設置しないでください。火災、本機の故障等につながる恐れがあります。
- 設置後は必ず定期的に安全点検を実施してください。落下や転倒により、けがの原因になります。

電源に関する警告・注意事項

- 電源ケーブルは必ず付属のものを使用してください。感電、火災、本機の故障等につながる恐れがあります。
- 製品仕様に記載される定格電力に合致するコンセントに接続してください。感電、火災、本機の故障等につながる恐れがあります。
- 電源ケーブルを抜き差しする場合は、ケーブルを引っ張る等無理な力は加えず、プラグ部を持ってまっすぐ抜き差しをしてください。基板が損傷し、火災、やけど、けが、感電等の原因となります。
- 本機に電源ケーブルを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。基板が損傷し、火災、やけど、けが、感電等の原因となります。
- 落雷の可能性が有る場合は、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。感電、本機の故障等につながる恐れがあります。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
- マルチタップの使用は推奨しておりません。消費電力の大きな製品が同じタップに接続されている場合、火災等につながる恐れがあります。
- 電源ケーブルを破損・加工しないでください。また、重量物を載せたり、引っ張ったりしないでください。電源ケーブルを抜き差しする場合は、ケーブルを引っ張るなど無理な力は加えず、まっすぐ抜き差しをしてください。基板が損傷し、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 本機に電源ケーブルを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。基板が損傷し、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 落雷の可能性が有る場合は、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
- 電源ケーブルを破損・加工しないでください。また、重量物を載せたり、引っ張ったりしないでください。

使用環境(温度・湿度)に関する警告・注意事項

- 本機を暖房器具の近くで使用しないでください。本機の故障等につながる恐れがあります。
- 本機を高温になる場所に放置しないでください。本機の故障等につながる恐れがあります。
- 周囲温度が 0 °C～40°Cの範囲内でご使用ください。
- 周囲湿度が 10～90％RH の範囲内でご使用ください。湿度が範囲以上になると結露が発生する場合があります。
- 本機を寒い場所から暖かい場所へ移動させたときや、暖房などで室温が急に上がったときなど、本機の表面や内部に結露が起こる場合があります。結露が起きた場合は、結露がなくなるまで電源を入れないでください。故障の原因となります（結露を防ぐためには、徐々に室温を上げてください)。

メンテナンスに関する警告・注意事項

- お手入れをする場合は、電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。
- 軽い汚れをふき取るときは、めがね拭きなどの乾いた柔らかい布でそっとふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、サポート窓口までお問い合わせください。
- 水やスプレー式の洗剤はご使用しないでください。

本機を移動する際の警告・注意事項

- 本機を移動する前に、電源がオフになっていること、電源ケーブルとその他すべてのケーブルが取り外してあることを確認してください。けが、本機の故障に繋がる恐れがあります。
- 本機を移動する際は、筐体に衝撃を与えないでください。本機の故障に繋がる恐れがあります。

イヤホンの使用に関する警告・注意事項

- イヤホンをご使用になる前に、あらかじめ本機の音量を下げてください。
- イヤホンで大きな音を長時間聞くと、聴力に影響を与える恐れがあります。

パソコンと本機の接続に関する警告・注意事項

- パソコンと本機を接続する際は、必ず付属の USB ケーブルを使用してください。それ以外のケーブルを使用した場合、動作に問題が生じる可能性があります。
- 付属の USB ケーブルを使用する際は、USB ハブおよび USB 延長ケーブルを使用しないでください。USB ハブおよび USB 延長ケーブルを使用した場合、動作に問題が生じる可能性があります。
- USB ケーブルは必ずプラグを持って抜き差ししてください。USB ケーブルを引っ張ると事故や断線の原因になります。
- USB ケーブルを使用する際は、USB ケーブルの損傷を防ぐため、ねじれないように注意してください。
- すべてのパソコン、アプリケーションでの動作保証をするものではありません。
- マルチブート環境、シンクライアント環境では動作保証できません。

通話に関する警告・注意事項

- 本機を使用して通話する際は、本機に向かって話しかけてください。
- 本機を使用する際は周囲の雑音や反響が少ない環境でご使用ください。
- 外部スピーカーなどの電子音はノイズカットされ、集音できない場合があります

サポート窓口について

- 本機に関する質問やトラブル等のお問い合わせをする場合は、保証書に記載の電話番号にお問い合わせください。
- サポート窓口では製品番号や製品の状況等についての情報提供をしていただくことがございます。予めご了承ください。
- サードパーティ製品（弊社が販売・提供元でない周辺機器やアプリケーション）の操作・仕様の説明はできかねますので、販売・提供元へお問い合わせください。

ワイヤレスドングルの取り扱いに関する注意

- ワイヤレスドングル（WT13M）はリチウムイオン電池を搭載しています。下記の注意事項を必ずお読みください。
- ワイヤレスドングルをパソコンに接続して使用している最中は、パソコンを動かさないでください。接続部に負荷が加わり、変形・故障等につながる恐れがあります。
- ワイヤレスドングルを分解したり、改造したりしないでください。火災・けがなどの原因となります。
- ワイヤレスドングルを直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。火災・故障・けがなどの原因となります。
- ワイヤレスドングルを規定の電圧・電流（5V/0.5A)を超える電源に接続しないでください。火災・故障・けがなどの原因となります。
- ワイヤレスドングルを抜き差しする場合は、プラグ付近を持ち、無理な力を加えずまっすぐ抜き差しをしてください。変形・破損の原因となります。
- ワイヤレスドングルを高所から落とさないでください。変形・破損の原因となります。
- ワイヤレスドングルはマルチブート環境・シンクライアント環境では動作保証できかねます。予めご了承ください。
- すべてのパソコン、アプリケーションでの動作保証をするものではありません。予めご了承ください。

ワイヤレスドングルのプラグが破損している場合は、本製品を使用せずに、サポート窓口へお問い合わせください。

本書について

- 画面表示を含め本書に記載のイラストは説明用のものであり、実際とは多少異なります。
- 本書に記載している数値は、お客様の環境などにより実際の数値と異なることがあります。
- 本書に記載された会社名や商品名は各社の商標または登録商標です。 個別の商標に関する注記については、こちらをご参照ください。https://nicemobile.jp/news/trademark/
- 本書の内容は、製品の仕様変更などで予告なく変更される場合があります。最新版は下記 URL よりご確認いただけます https://nicemobile.jp/wp/wp-content/uploads/2024/01/soundbar-pro-wt13-m.pdf

免責

以下のような場合は免責事項として、保証範囲外となりますのでご注意ください。

・本ユーザーマニュアルに記載する内容以外のご使用で故障および不具合が起きた場合

・お客様ご自身での修理や解体をした場合

・仕様書に準じていない環境でのご使用により故障および不具合が起きた場合

・自然災害(火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変)により故障および不具合が起きた場合

・定格外の電源(異常電圧、異常周波数)での使用により故障および不具合が起きた場合

・サードパーティ製のアプリケーションの使用により不具合が起きた場合

・お客様ご自身でご用意された周辺機器での動作不具合が起きた場合

また、上記の原因で発生した物損、人身傷害も責任を負いかねますのでご了承ください。

同梱物一覧

- 本機 ……1 台
- HDMI ケーブル ……1 個
- 電源アダプター ……1 式
- 壁掛け金具 ……1 式
- レンズカバー ……1 枚
- リモコン……1 個

  備考：単四電池 2 本同梱
- USB ケーブル（C to A、3m）……1 本
- クイックスタートガイド……1 枚

<オプション>壁掛けについて

安全上のご注意

・風通しの良い場所に設置してください

・地面に対して垂直に設置してください。長辺は地面と平行に設置してください

・周辺は十分なスペースを空けてください

・可燃ガス、腐食環境に設置しないでください

・強い電磁波の近くに設置しないでください

・騒音、振動が強い場所に設置しないでください

・煙、風、湿気、直射日光、高温の場所に設置しないでください

・その他本設備に危険を与える場所に設置しないでください

設置に関するご注意

・壁掛け金具（同梱品）を使用すること

・ネジ（同梱品）など専用部品を使用すること

・設置場所は水、電気、ガスの配管付近を避けること

・垂直の壁に設置すること

・十分強度のある壁に設置すること

・天井吊りなど特殊な設置方法の場合、強度、消防、熱、湿気、メンテナンスなど十分考慮して設置すること

設置方法

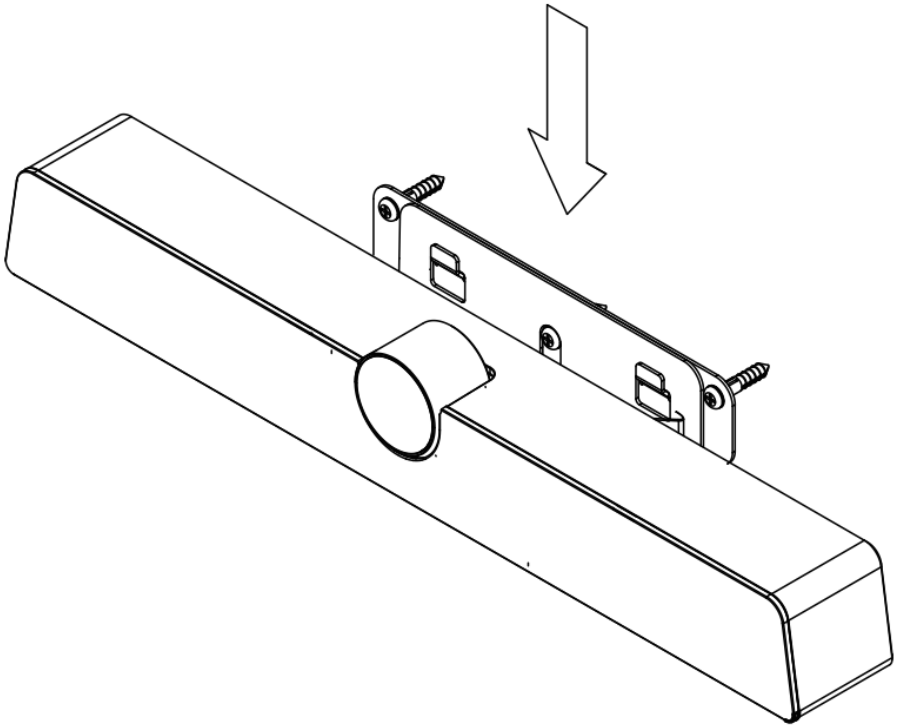
1）直接机に置く

2）壁に掛ける

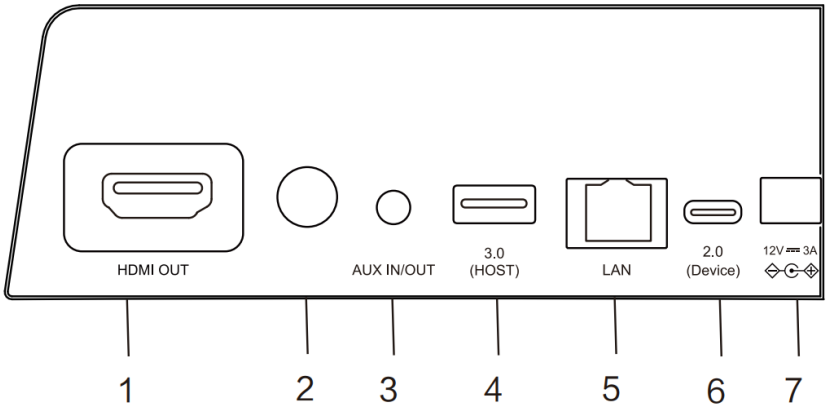
・設置場所、高さを決める

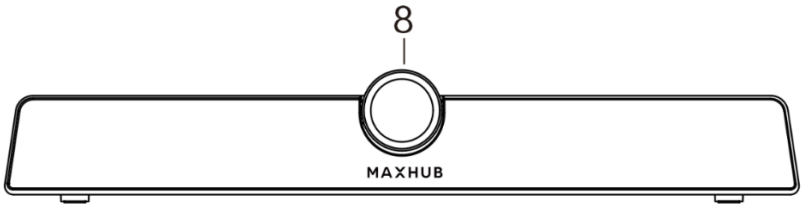
・壁掛け治具をネジで壁に取り付ける

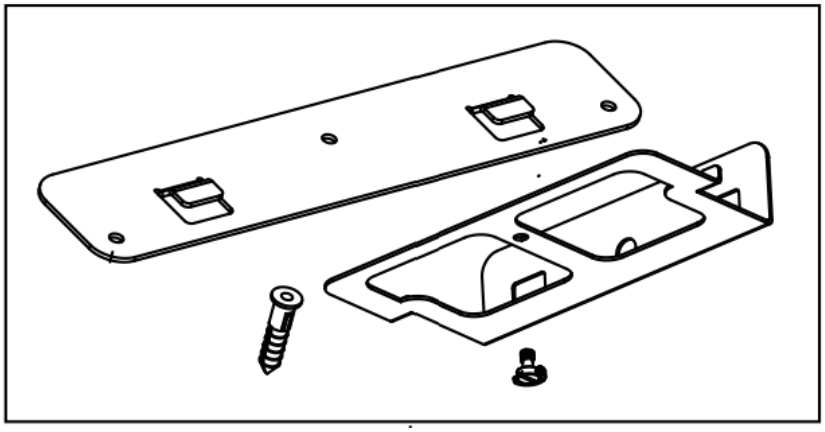
・本機を壁掛け治具に取り付ける



各部の機能







－9

	名称	機能
1	HDMI OUT	HDMI 出力端子
2	電源ボタン	1 回押すと電源が ON になります。電源が ON の時、2 秒以上押すと電源が OFF になります。
3	AUX IN/OUT	外部オーディオデバイスとの接続
4	USB3.0 端子(Type-A)	外付けの USB キーボード/マウスと接続できます。
5	LAN 端子	RJ45 有線 LAN を接続可能
6	USB2.0 端子(Type-C)	USB Type-A to Type-C ケーブルで PC と接続します PC の外部カメラ、マイク、スピーカーとして使えます
7	DC 電源	12V 電源アダプターと接続します
8	カメラ	1200 万画素のカメラです
9	壁掛け治具	壁に掛けるための治具です

安全のため、接続する前にすべての電源コードを抜いてください。

本機電源操作

電源オン

① 電源コードの片方を本機に挿す

② 電源アダプターをコンセントに挿す

③ 本機電源を 1 回押す or リモコンの電源ボタンを押す（本機電源の LED が白に点灯する）

備考：初回は初期設定が必要です、画面に従って設定してください

電源オフ

① 本機電源を 1 回押しして、「電源オフしますか？」のメッセージが出たら、「OK」を押す

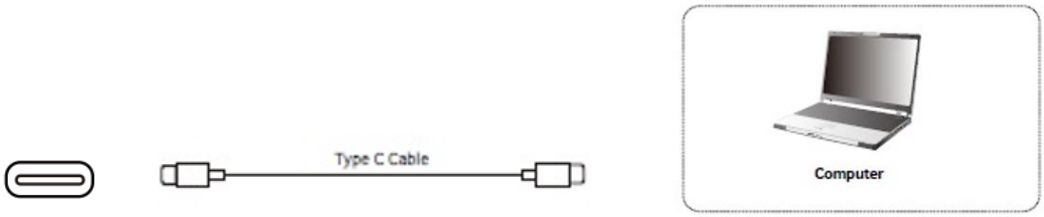
備考：HDMI ケーブル経由でテレビなどと接続している場合

② 本機電源を長押し、LED が消灯する

備考：電源が ON の状態で AC アダプターを抜くと故障の原因となる可能性があります

接続方法

① PC と接続する（PC の外付けカメラ、マイク、スピーカーとして使う）



1) 付属 USB ケーブルの Type-C 側を本機の Type-C 端子に挿す

2) Type-A 側を PC に挿す

3) PC を起動する

4) 本機電源を 1 回押す

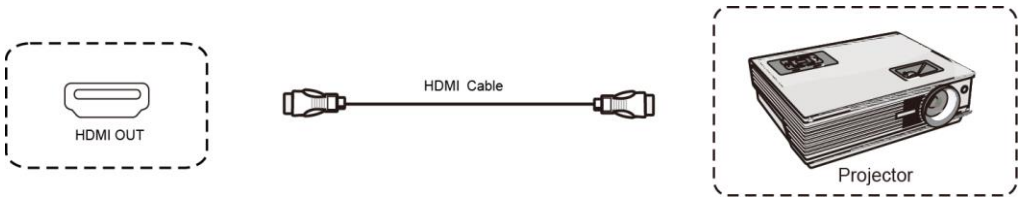
5) 本機のカメラ、マイク、スピーカーが自動的に認識される

備考：音が鳴らないときは PC のサウンド設定から出力デバイスを選択してください

② HDMI 入力端子のある表示機器と接続する（本機単独で動作する）

・Web 会議アプリをインストールすれば本機だけでも Web 会議が可能

・本機は画面ミラーリングも可能



1) HDMI ケーブルで本機とテレビ、プロジェクターなどと接続する

2) 本機電源コードを接続して、電源アダプターをコンセントに挿す

3) テレビ機器を起動する

4) 本機電源を 1 回押す

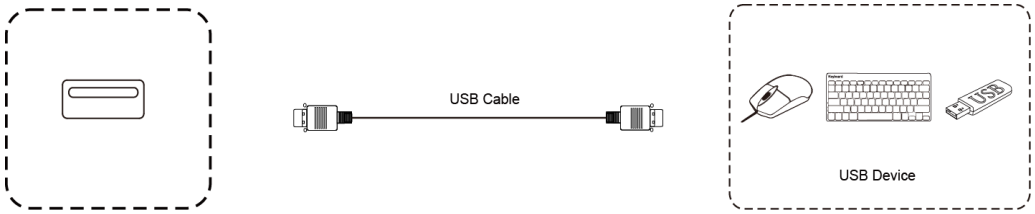
③ Type-C モニターと接続する

備考：Type-A、Type-C 端子付きのモニターと Type-C to C ケーブルがあれば、
お手持ちの PC の画面表示と同時に、本機のカメラ、マイク、スピーカーも使用可能

1) 付属 USB ケーブルの Type-C を本機、Type-A をモニターに接続する

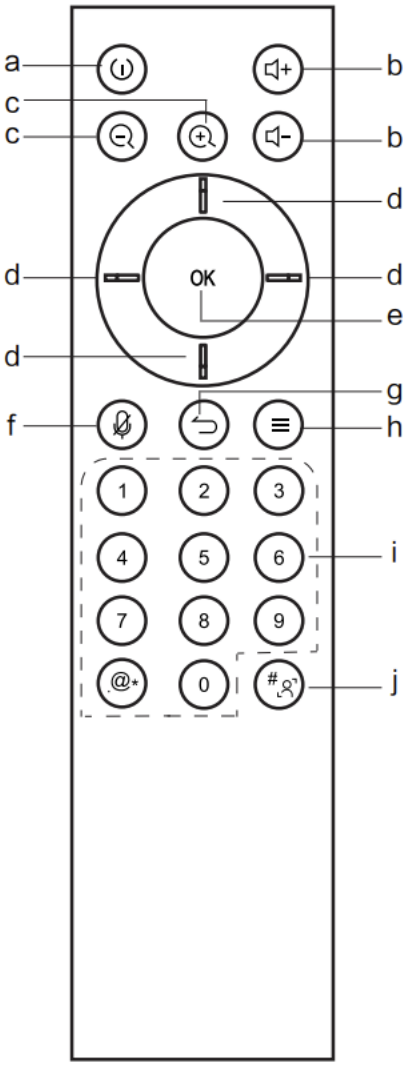
2) Type-C to C ケーブルをモニターと PC に接続する

④ USB デバイス接続



USB ケーブルを使用して本機と USB 対応機器を接続する

リモコン



a: 電源ボタン。一度押すとシャットダウンの確認画面が表示され、二秒長押しで電源がオフになります。

b: 音量調整ボタン。システムの音量を調整します。

c: デジタルズーム。カメラのズームを調整できます。ズーム後は方向ボタンでカメラの画像向きを調整できます。

d: 方向ボタン。方向ボタンを押すと選択やズーム時にカメラ画像の向きを調整できます。

e:OK ボタン。選択を決定します。ズーム時に押すと、デフォルトに戻ります。

f: マイクのオン/オフの切り替え。

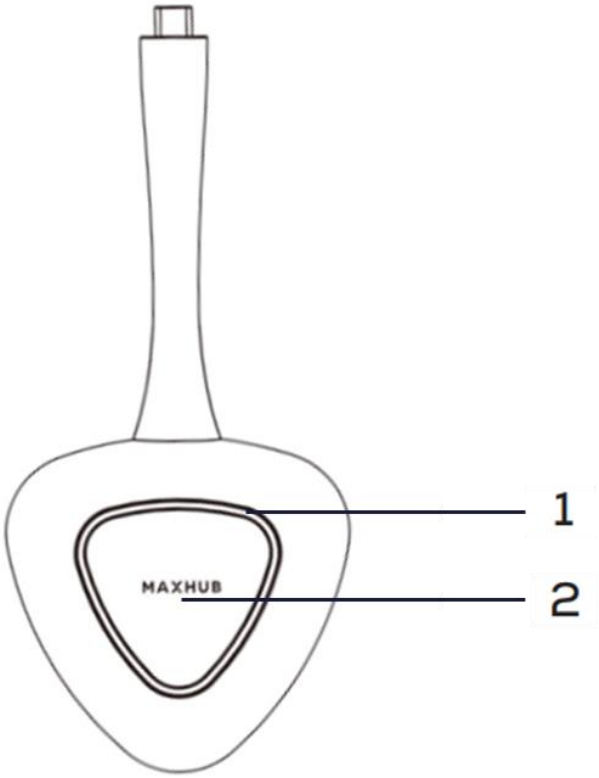
g: リターンボタン。前のページに戻ります。

h: メニューボタン。メニューの呼び出しができます。

I:数字キー。

j : オートフレーミングのオン/オフの切り替え。

ワイヤレスドングル（WT02A）の説明



番号	インターフェース	機能
1	インジケーターランプ	ワイヤレスドングルのステータスを確認できます。
2	ボタン	画面共有の開始/終了ができます。 1 回押す： 1 台の端末の画面共有を開始できます。再度押すと画面共有を終了できます。 長押し（**Type-A 接続のみ**）：既に他の端末で画面共有を行っている場合、複数端末での画面共有を開始できます。

インジケーターランプの説明

・ 白い点灯

本機との接続が完了した時

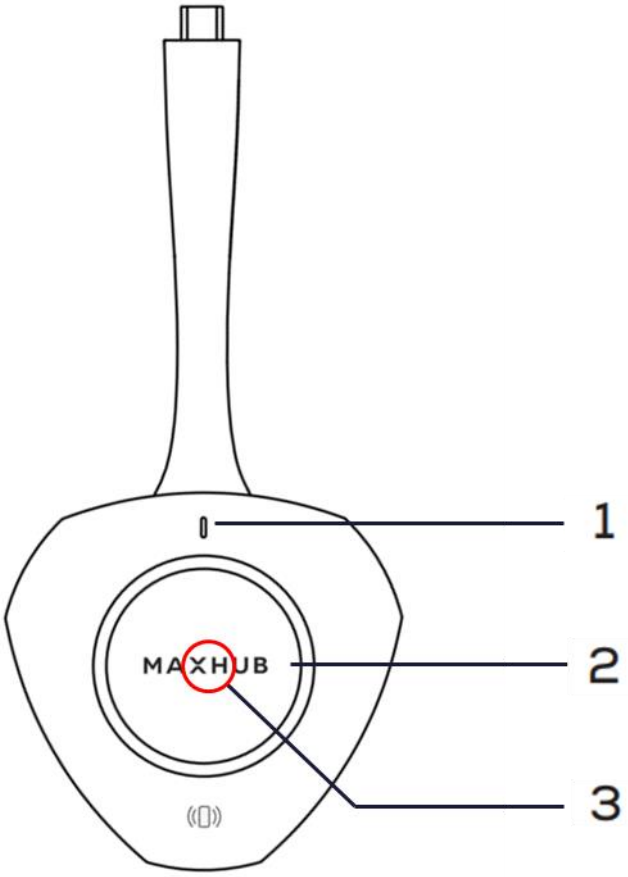
・ 白い点滅

PC にワイヤレスドングルを接続した状態で本機との接続が完了していない時

・ 白い点灯（低輝度）

画面共有の実行中

ワイヤレスドングル（WT13M）の説明



番号	インターフェース	機能
1	インジケーターランプ	ワイヤレスドングルのステータスを確認できます。
2	ボタン	画面共有の開始/終了ができます。 1 回押す： 1 台の端末の画面共有を開始できます。再度押すと画面共有を終了できます。 長押し：既に他の端末で画面共有を行っている場合、複数端末での画面共有を開始できます。
3	NFC センサー	NFC 機能を持ったスマートフォンを**ワイヤレスドングル中心部にある** NFC センサーにかざすと、画面共有アプリケーション「Exceed Share」から画面共有できます。「Exceed Share」がインストールされていない場合、ダウンロードサイトに移行します。

インジケーターランプの説明

- 白い点灯

  PC にワイヤレスドングルを接続していない時：ワイヤレスドングルを持ったり、動かしたりすると点灯します。

  白い点灯状態で PC にワイヤレスドングルを接続すると、本機との接続時間が短くなります。

  PC にワイヤレスドングルを接続した時：本機との接続が完了
- 白い点滅

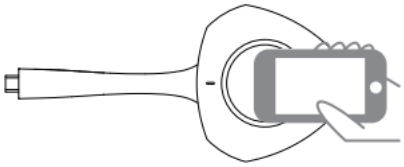
  PC にワイヤレスドングルを接続した状態で本機との接続が完了していない時
- 青い点灯

  ワイヤレスドングルと本機のペアリング中 or ペアリングが完了した時
- 緑の点灯

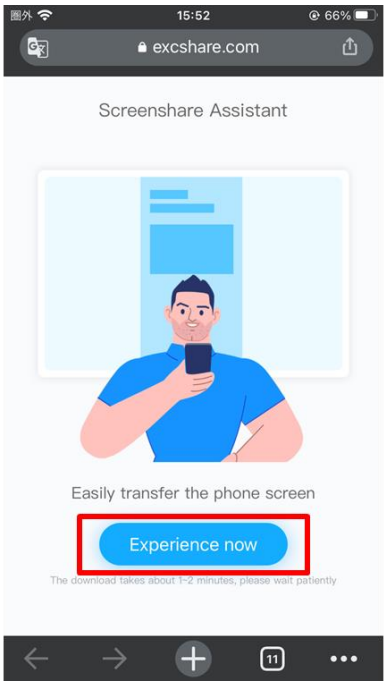
  画面共有の実行中

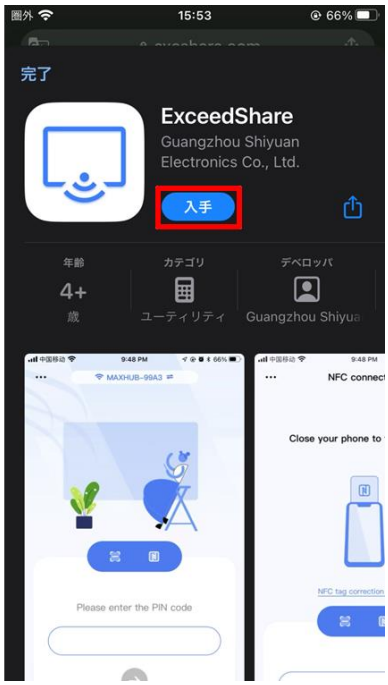
NFC センサーの使用方法（例：iPhone 使用時）

1) ワイヤレスドングルを本機とペアリングします。（**初回のみ**）
2) ワイヤレスドングルの NFC センサーの上にスマートフォンの NFC センサーを合わせ、1 秒間以上保持します。



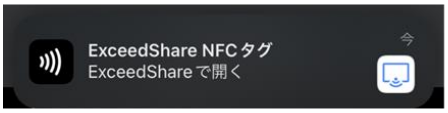
3) NFC が反応し通知が表示されたらタップして Exceed Share をインストールします。（**初回のみ**）





4) NFC が反応し表示された通知をタップすると、本機のホットスポットにスマートフォンが接続されます。

（**Exceed Share インストール後**）



5) 「ブロードキャストを開始」をタップすると、画面投影が開始します。

NFC センサーが反応しない主な理由

- 端末に NFC 機能が無い
- 端末の NFC 機能が OFF になっている
- 端末で Exceed Share アプリに対して NFC 機能を許可していない
- 合わせる位置が正しくない
- 合わせる時間が短すぎる
- センサーへの距離が遠すぎる（センサーの位置はワイヤレスドングルの中心です）

ワイヤレス画面投影

ワイヤレスドングルまたは**専用アプリケーション(以下 MAXHUB Share)**を使用して、PC・タブレット・スマートフォンの画面を表示できます。本機上での操作は、画面表示された端末へ反映されます。(PC のみ)

最大 4 画面を同時に表示できます。

備考：ワイヤレス画面共有・投影の通信は、**ポート:7382-7435 プロトコル:TCP/UDP** を使用します。PC や本機にセキュリティソフトがインストールされている場合、通信が遮断されワイヤレス画面共有に失敗することがあります。その場合セキュリティソフト側で上記の通信情報を許可してご利用ください。(セキュリティソフトの操作・設定方法についてはソフトウェアの販売元にお問い合わせください。)

備考：ワイヤレスドングルは Windows OS と Mac OS の PC に対応しています。Chrome OS や iOS、iPadOS、Android OS 等のタブレット・スマートフォンでは動作保証しておりません。

備考：ワイヤレスドングル（WT13M）を特定の PC に接続した時、PC のネットワーク接続が無効になることがあります。下記の URL のお知らせをご確認の上、PC に設定を行ってください。

https://nicemobile.jp/news/230823/

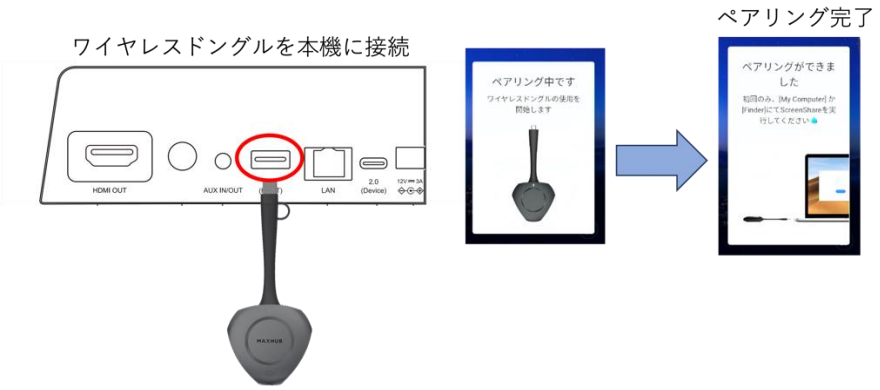
ワイヤレスドングルの使用方法

備考：ワイヤレスドングルはオプションです、詳細は販売店にご確認ください

ワイヤレスドングルと本機をペアリングする

① ワイヤレスドングルを本機の USB Type-A 端子に接続する

② 「ペアリングに成功しました」という表示が出たことを確認し、取り外す



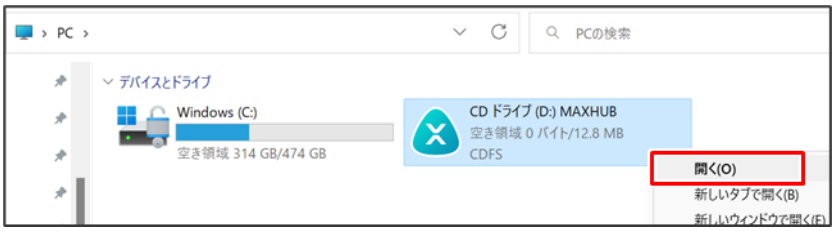
ワイヤレスドングルを PC に接続（Windows PC の場合）

ワイヤレスドングルを USB Type-C 端子、または付属の Type-A 変換器を付けて PC の USB 端子に接続します。

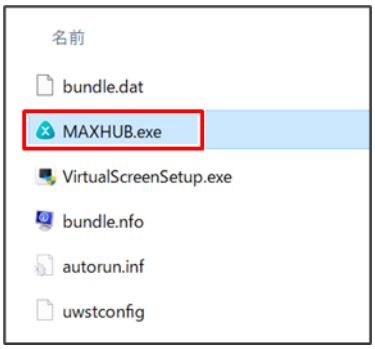
注意：ワイヤレスドングルをパソコンに接続して使用している最中は、パソコンを動かさないでください。接続部に負荷が加わり、変形・故障等につながる恐れがあります。

- USB Type-A で接続した場合（**初回接続時のみ**）

Windows の PC (マイコンピュータ)を開き、「CD ドライブ MAXHUB」を右クリックし「開く」を選択します。



「MAXHUB.exe」をダブルクリックし、画面共有アプリを起動します。



備考：**初回接続時のみ**画面共有アプリのインストールが必要になります。

2 回目以降はワイヤレスドングルを PC に接続すると自動でアプリが起動します。

WT02A

WT13M

画面共有アプリが起動した後は下図のように「画面共有できます」と表示され、ワイヤレスドングルのランプが点滅から点灯に変わります。この状態でワイヤレスドングルのボタンを押すと画面共有が開始します。

WT02A

WT13M

- USB Type-A で接続した場合（**2 回目移行の接続時**）

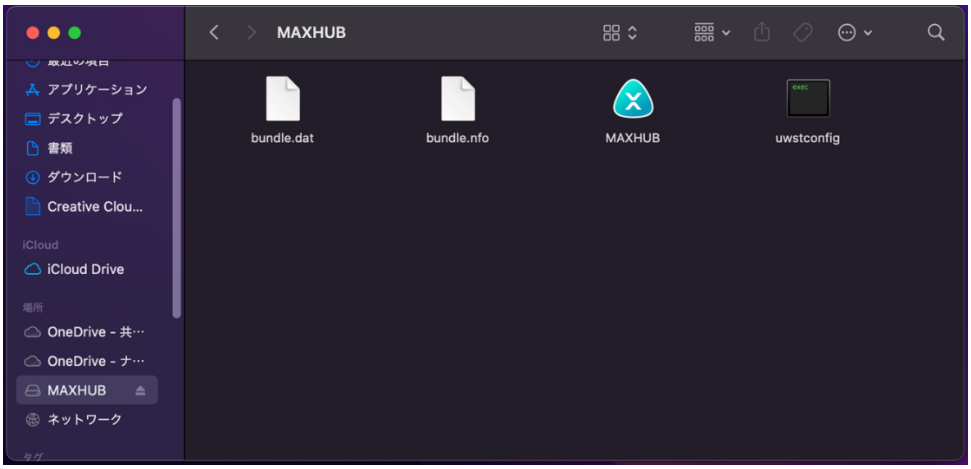
ワイヤレスドングル接続後 10 秒～20 秒経過すると画面共有アプリが自動で起動し、ワイヤレスドングルのランプが点滅から点灯に変ります。この状態でワイヤレスドングルのボタンを押すと画面共有が開始します。

- USB Type-C で接続した場合

ワイヤレスドングル接続後 10 秒～20 秒経過するとワイヤレスドングルのランプが点滅から点灯に変ります。この状態でワイヤレスドングルのボタンを押すと画面共有が開始します。

ワイヤレスドングルを PC に接続（Mac の場合）

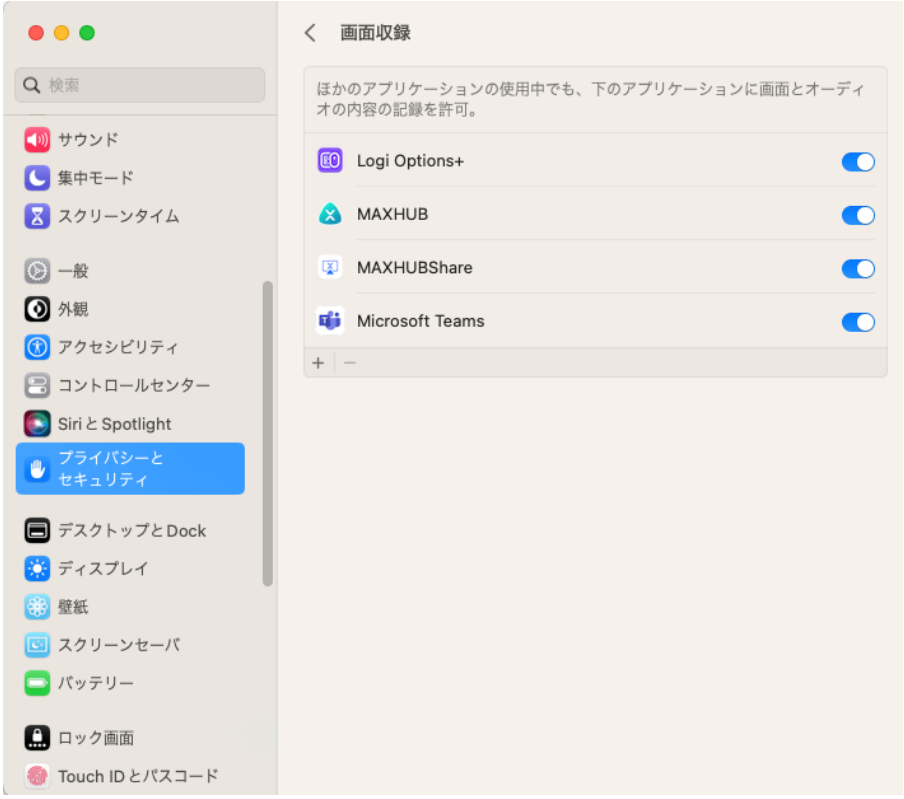
1) ワイヤレスドングルを USB 端子に接続します。
2) デスクトップに表示された MAXHUB ドライブを開きます。
3) MAXHUB.app を実行します。



4) 10 秒～15 秒待ち、下図のように権限を求められたら「設定」を押します。

5)　「セキュリティとプライバシー」→「アクセシビリティ」の画面が出てきたら、
鍵マークをクリックして使用する mac のパスワードを入力します。

6)　鍵が解除されたら「MAXHUB」にチェックを入れて再度、鍵マークを押します。



7)　下図が表示されたら、ワイヤレスドングルのボタンを押し画面共有を開始します。

WT02A

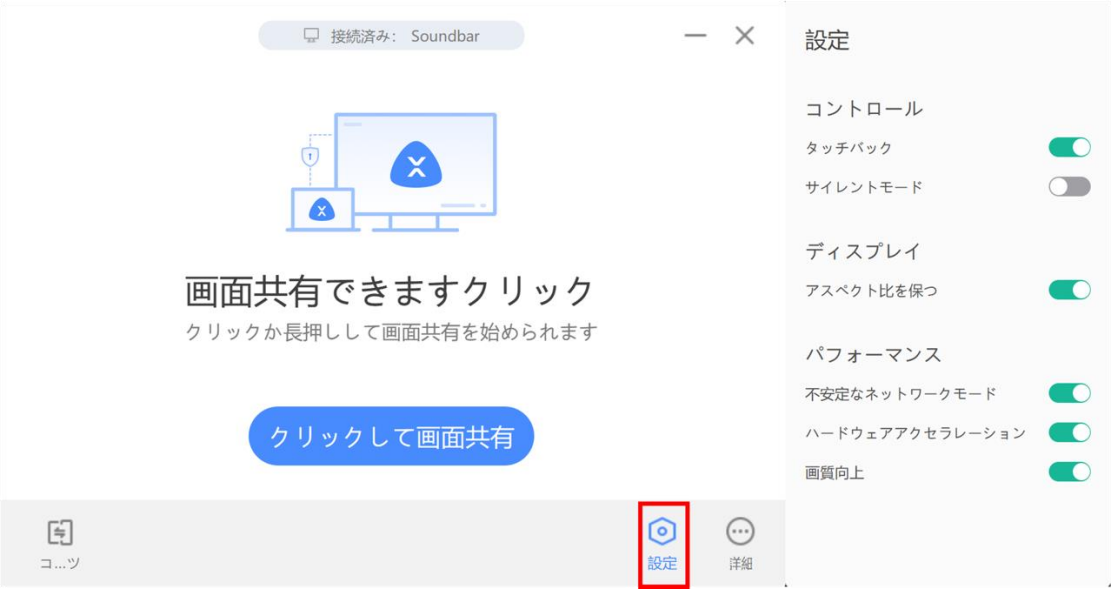
WT13M

ワイヤレスドングルの操作（Windows・mac 共通）

- ボタンを 1 回押す…ワイヤレスドングルのランプ点灯時、1 台の端末の画面共有を開始します。再度押すと画面共有を終了できます。
- ボタンを長押し…既に他の端末で画面共有を行っている場合、複数端末での画面共有を開始できます。

画面共有アプリの操作（WT02A）

画面共有アプリでは各種設定や、拡張画面等の機能が使えます。



備考：ワイヤレスドングルは PC の USB Type-A 端子に接続した場合と USB Type-C 端子（オルタネートモード対応）に接続した場合で、設定できる項目や仕様が異なります（ワイヤレスドングルを**オルタネートモード対応の Type-C 端子**に接続した場合、外部ディスプレイとして認識されます）。以下の表をご確認ください。

項目	機能	Type-A	Type-C
画面共有アプリのインストール	-	必要	不要
ボタン長押しでの複数同時画面共有	-	○	○
タッチバック	ON にすると本機から PC を操作できます。	○	○
サイレントモード	ON にすると画面共有への割り込みを禁止できます。	○	○*
全画面表示	ON にすると PC の映像を投影先のモニターそのままで画面共有ができます。	○	×
不安定なネットワークモード	ON にすると画面共有の遅延やカクつきを抑制します。画面共有の画質が低下することがあります。	○	×
ハードウェアアクセラレーション	ON にすると画面共有のパフォーマンスが向上します。画面が暗くなる等の異常が出た場合は OFF にしてください。	○	×
画質向上	ON にすると画面共有の画質が向上します。画面共有の遅延やカクつきが大きくなることがあります。	○	×
拡張画面	本機を PC の拡張画面として使用できます。	○	○
アプリ画面共有	指定したアプリケーションのみを画面共有できます。	○	×

* 画面共有アプリを別途インストールした時のみ使用可能です。

画面共有アプリの操作（WT13M）

画面共有アプリでは画面共有する時の設定や、画面共有するコンテンツの選択ができます。

番号	項目	機能
1	終了	画面共有アプリを終了します。
2	画面共有の開始	画面共有を開始します。
3	最小化	画面共有アプリを最小化します。
4	プレビュー	画面共有の設定を変更したり、プレビューを確認できたりします。
5	占有モード	ON にして画面共有をすると、他の画面共有を終了できます。 OFF にして画面共有をすると、複数端末での画面共有ができます。
6	コンテンツ	画面共有する内容を選択できます。 ワイヤレスドングルを Type-C 端子で接続した場合、アプリ投影は利用できません。

プレビュー

デスクト...
DELL P2419...
拡張画面
アプリ投影
CD ドライブ...
プレビュー
オプション
占有モード
不安定なネットワーク
ハードウェアアクセラ
タッチバック
全画面表示
高画質共有
クリックして画面共有

拡張画面の使用方法

備考：Type-A 接続の場合、初回使用時のみ拡張画面ドライバーのインストールが必要になります。

1) ワイヤレスドングルを PC の USB 端子に接続します。

2) 「共有画面できます」と表示されたらワイヤレスドングルのボタンを押します。

3) ＰＣの画面上部にカーソルを移動し、表示されたドングルツールバーの

「コンテンツ」→「拡張画面」→「デスクトップ拡張画面」をクリックすると、拡張画面が共有されます。

備考：タッチモードが自動的に無効になります

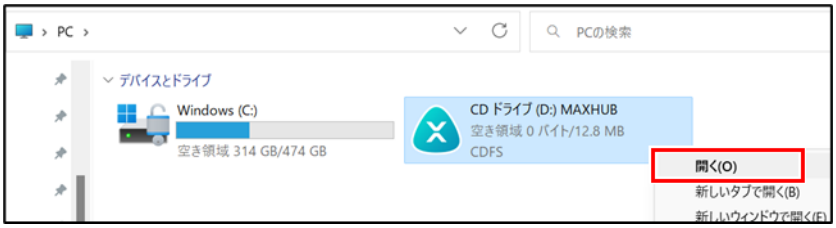
4) 複製画面にする場合はドングルツールバーの「コンテンツ」→「デスクトップ」をクリックして有効にします。

ＰＣ画面上部に表示される「ドングルツールバー」

拡張画面ドライバーのインストール方法

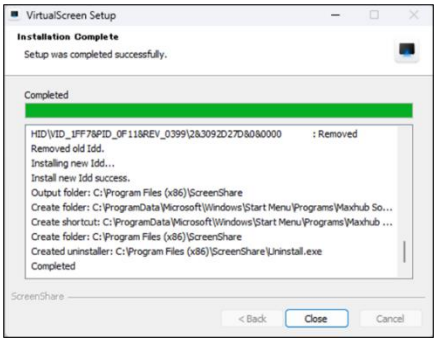
1) ワイヤレスドングルを PC の USB 端子に接続します。

2) PC (マイコンピュータ)を開き、「CD ドライブ MAXHUB」を右クリックし「開く」を選択します。



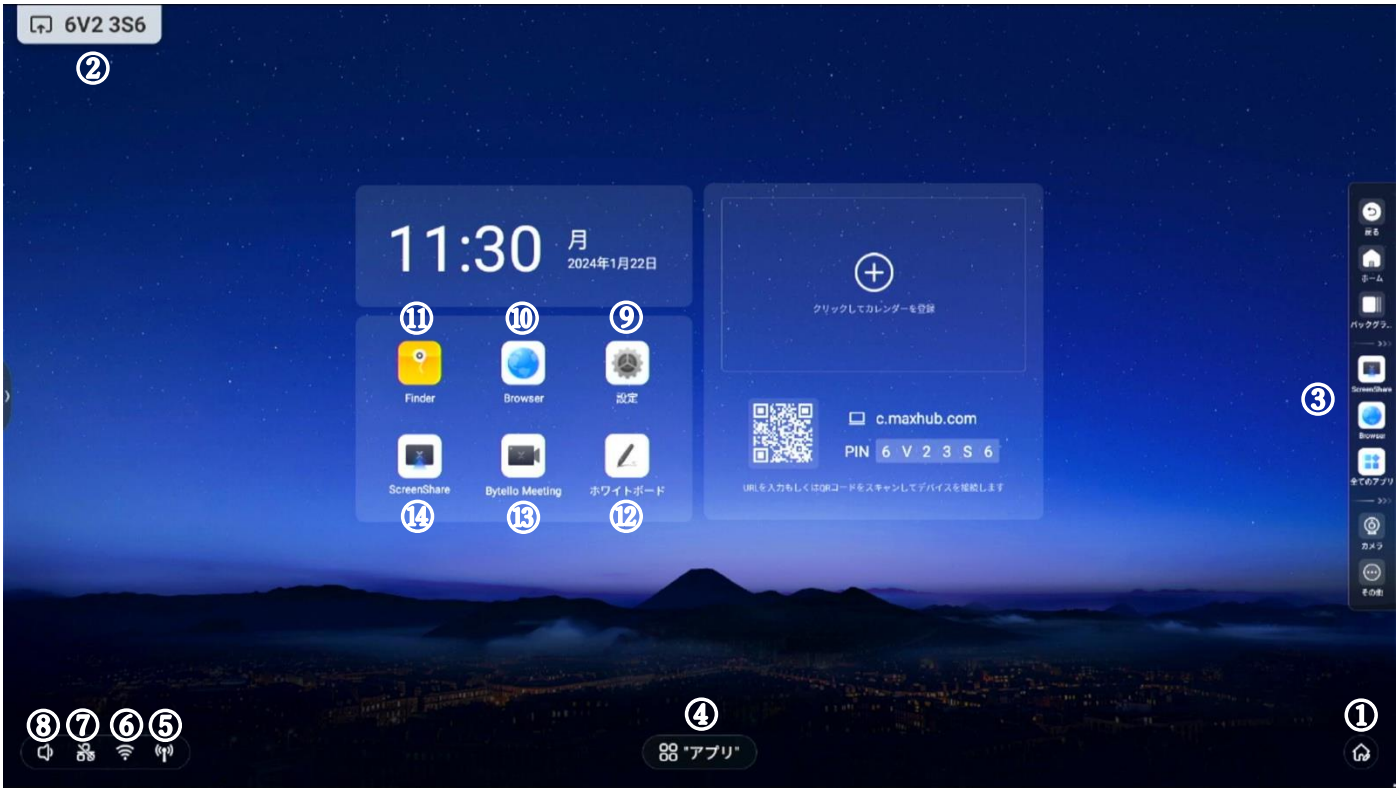
3) 「VirtualScreenSetup.exe」を右クリックし「管理者として実行」を選択します。

4) インストール終了後、PC を再起動して完了です。



ホーム画面

ホーム画面のアイコンから各機能を起動します。



① ホーム画面編集：レイアウト・壁紙・アプリの表示の変更ができます(ホーム画面編集)

② 接続コード：画面共有用のコードです。設定で表示/非表示が選べます(設定＞システム)

③ サイドバー：各種操作・設定をいつでもできます（サイドバー）

④ アプリ一覧：インストールされているアプリ一覧が表示されます

⑤ ホットスポット設定：本体のホットスポットの情報の表示と編集ができます

⑥ 無線接続設定

⑦ 有線接続設定

⑧ 音声出力設定

⑨ 設定：Sound bar Pro に関する設定ができます（設定）

⑩ ブラウザ：インターネットのブラウザ

⑪ Finder：本体内のファイルやフォルダを管理するツールです

⑫ ホワイトボード：(ホワイトボード機能)

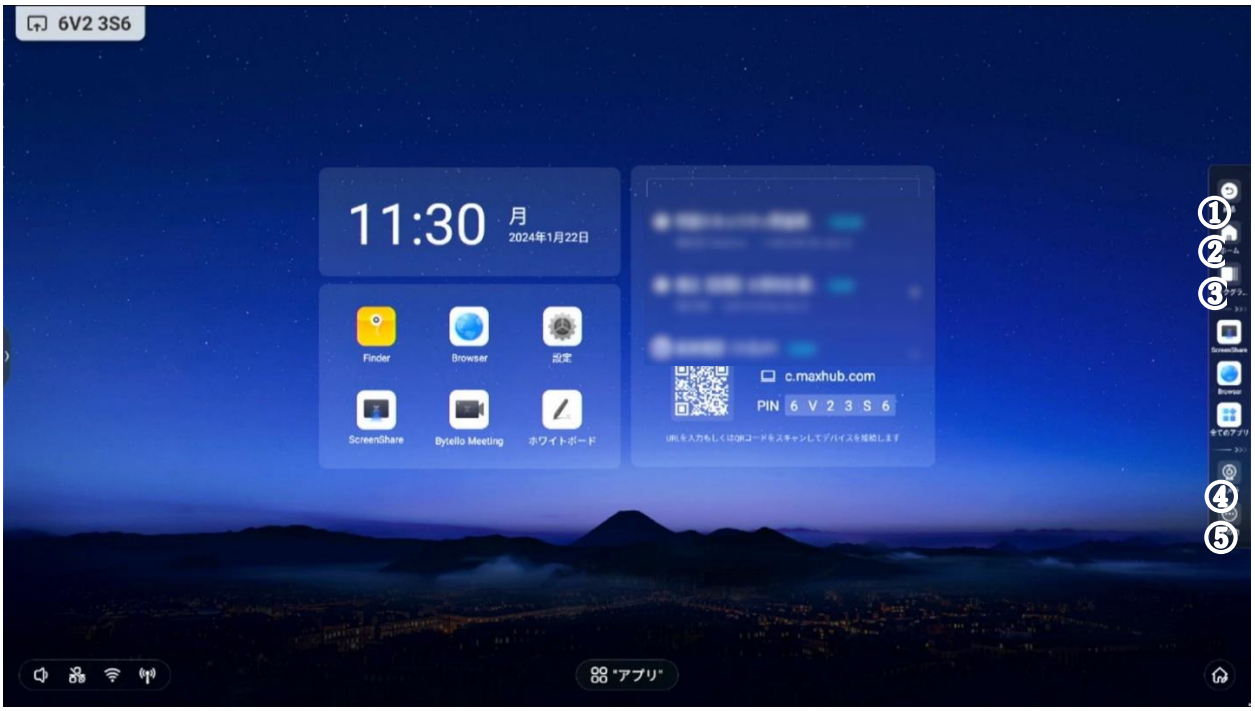
⑬ MAXHUB Meeting：カレンダーの連携や、QR コードを読み取って会議への参加ができます

⑭ ScreenShare：画面共有の設定（ScreenShare）

サイドバー

操作や本体に関連する設定を簡単に行えます。操作する端末(マウス or リモコン)によって自動で表示が変わります。

■　マウス使用時



① ひとつ前に戻る

② ホーム画面に戻る

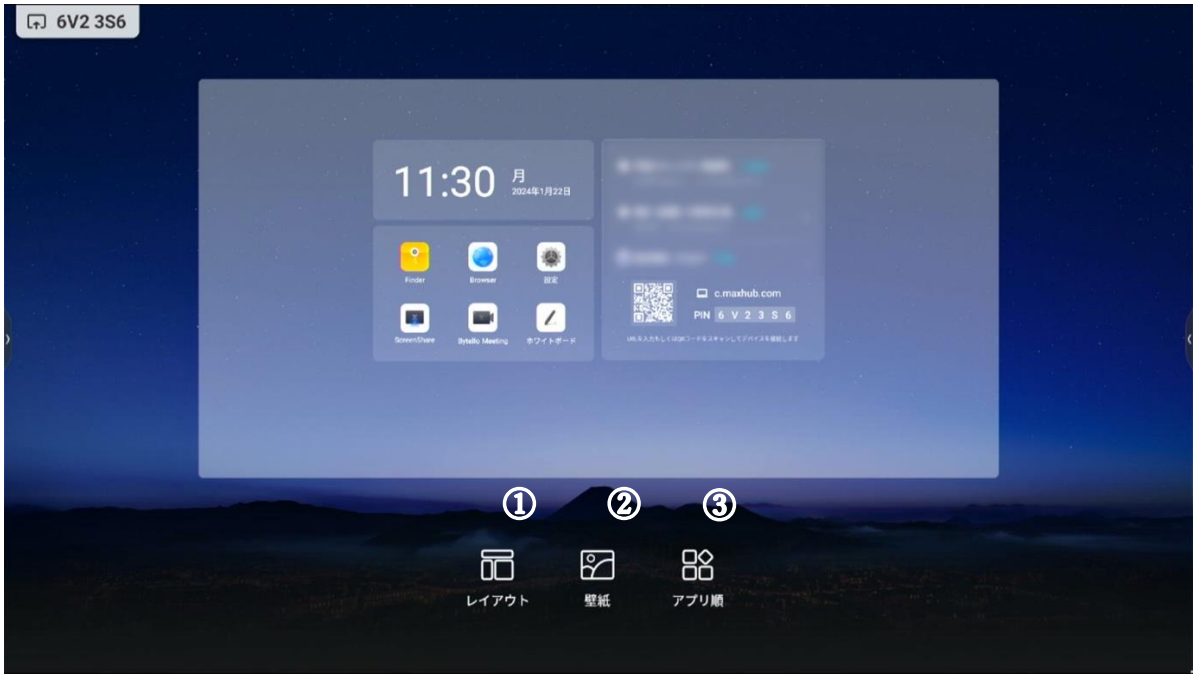
③ タスクを確認

④ カメラ・マイク・スピーカー設定

⑤ その他(タイマー・投票・マーク・レコード・Crop・プライバシークリーン)

■　リモコン使用時

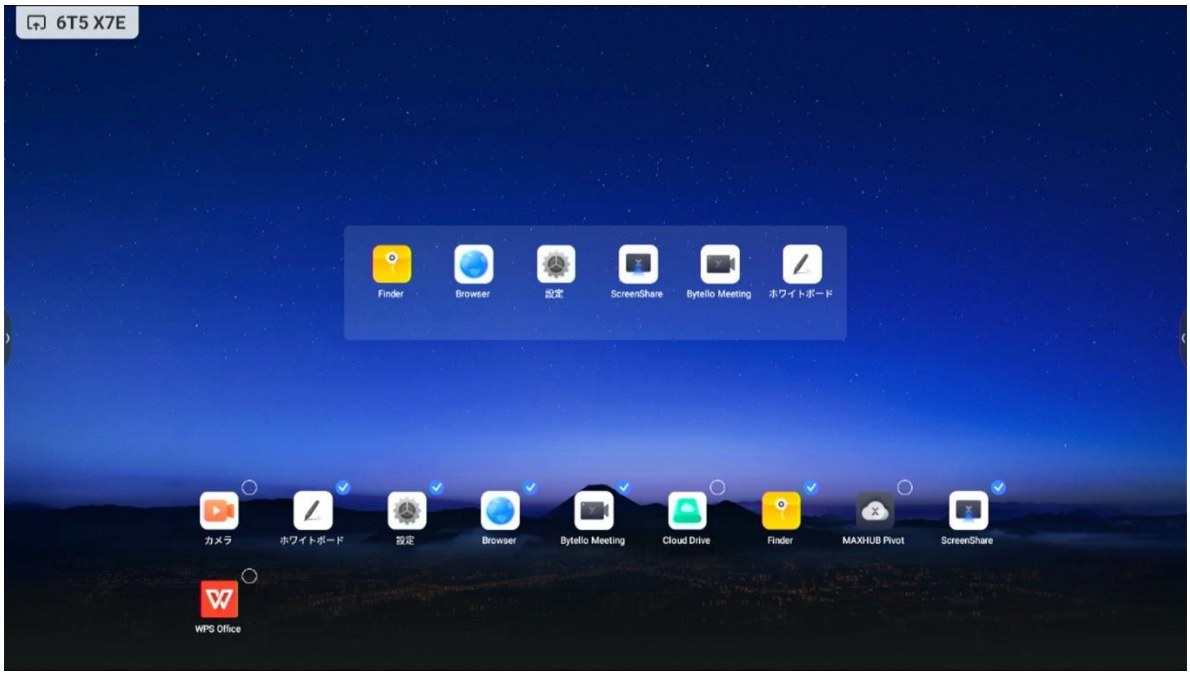
ホーム画面編集：レイアウト・壁紙・アプリの表示



① 「レイアウト」：3 種類のレイアウトから選択できます。

② 「壁紙」：任意の壁紙に変更できます。

③ 「アプリの表示」：ホーム画面に表示するアプリを変更できます

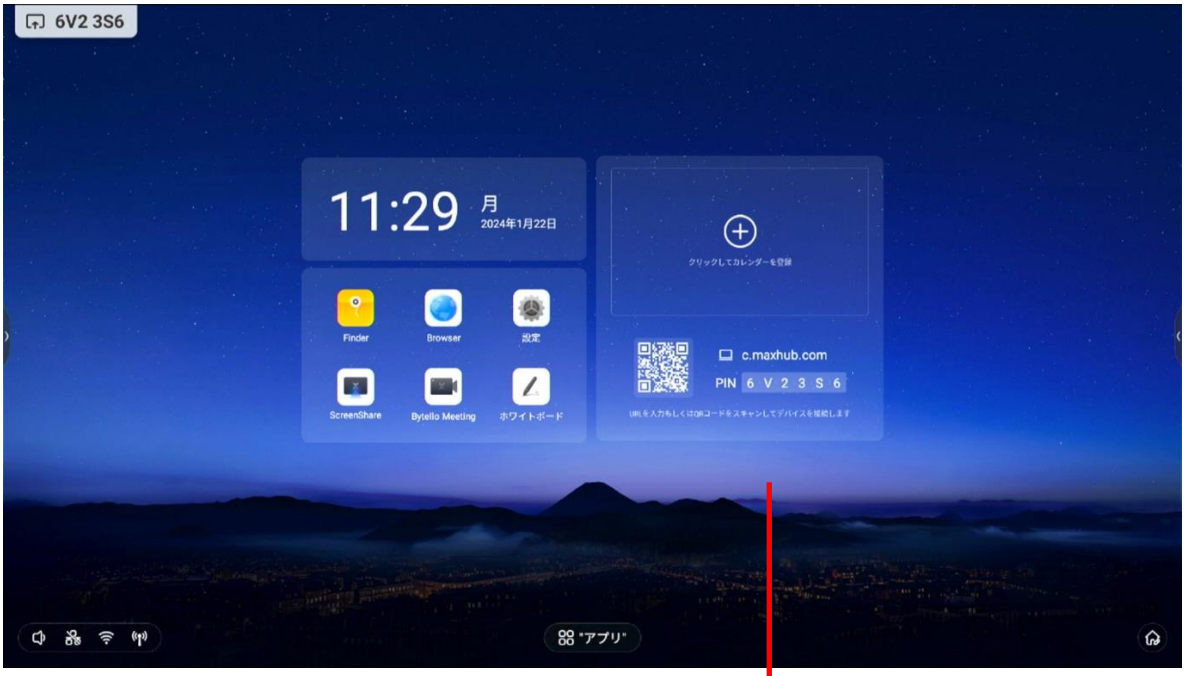


・　クラシックモード

時刻とアプリのみのシンプルなデザインです。

・　コラボレーションモード

カレンダー連携機能と MAXHUB Meeting へのアクセス QR コードを表示できる、より WEB 会議に特化したデザインです。

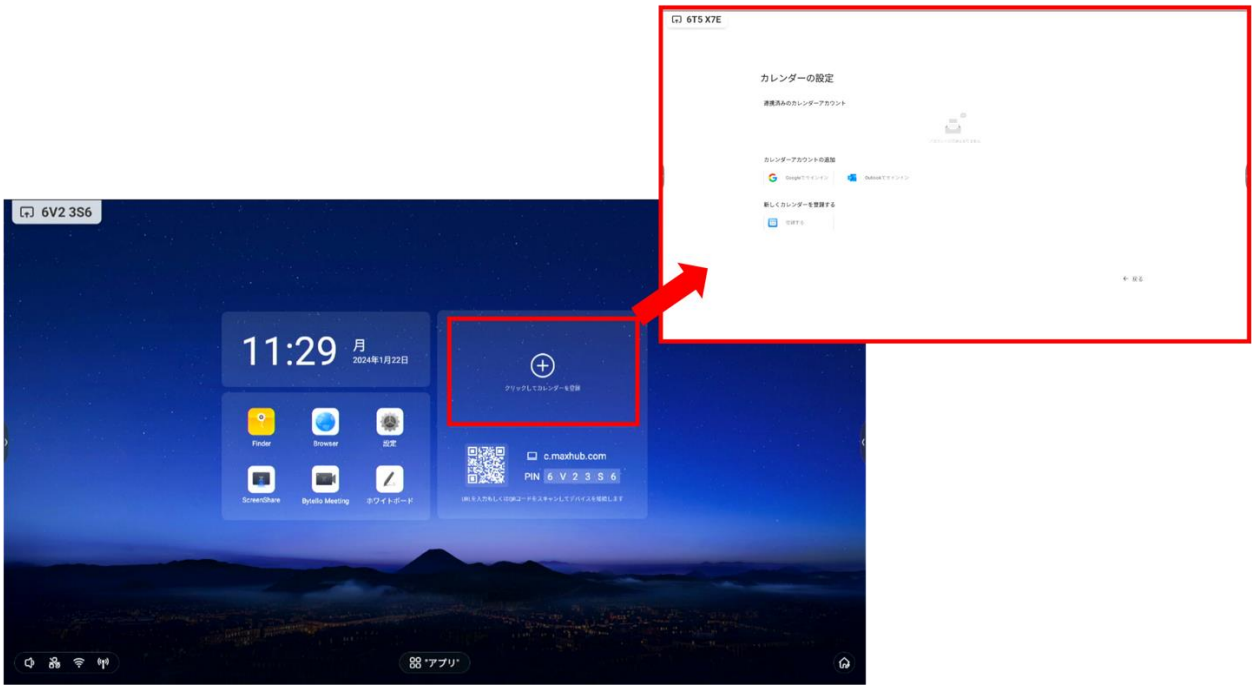


A)　カレンダー連携機能

Outlook や Google カレンダーと連携できます。

スケジュールに WEB 会議情報を設定すると、ワンタップで会議に参加できます。

備考：事前に表示させたいカレンダーアカウントを登録する必要があります。



B） MAXHUB Meeting

スマートフォンやタブレット等の端末から QR コードを読み取るか、PC から表示された URL を WEB ブラウザで開くと、MAXHUB Meeting にアクセスできます。

MAXHUB Meeting にアクセスすると、以下の機能が使用できます。

- PC：ミーティング URL 送信機能、WEB ブラウザからの画面共有、Outlook・Google カレンダー連携
- スマートフォン・タブレット：ミーティング URL 送信機能

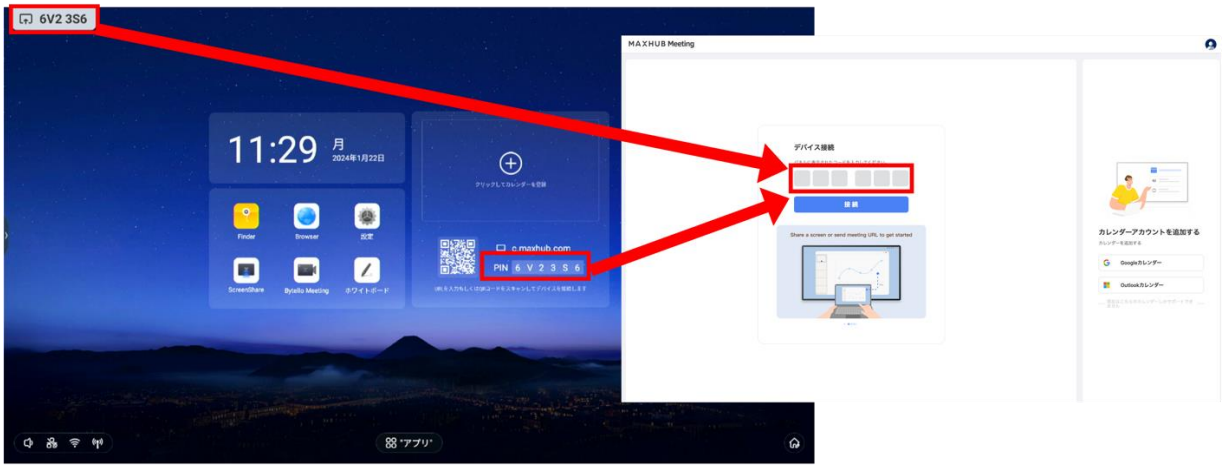
備考：本機能の利用にはインターネット接続が必要です。

利用手順 1

- PC：WEB ブラウザのアドレスバーに「c.maxhub.com」を入力し、MAXHUB Meeting にアクセスします。
- スマートフォン・タブレット：本機ホーム画面上の QR コードを読み取り、MAXHUB Meeting にアクセスします。

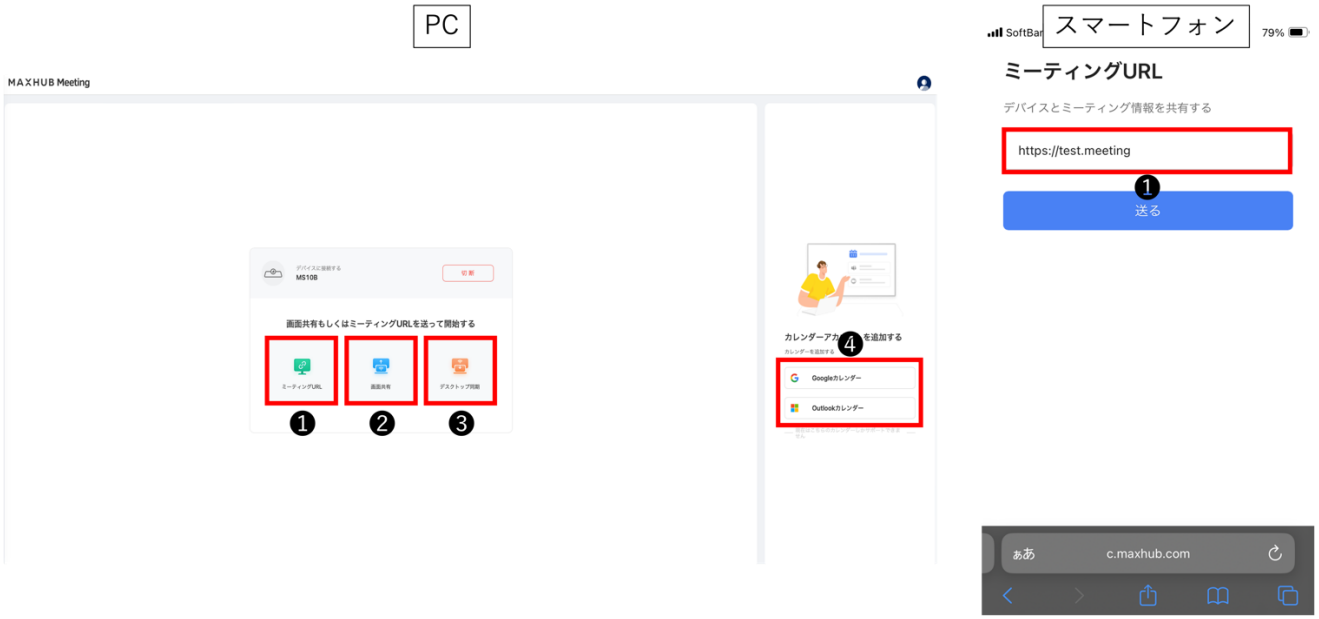
利用手順 2

- PC：本機の画面上に表示されている、6 桁の接続コードを MAXHUB Meeting 上で入力します。
- スマートフォン・タブレット：ホーム画面上の QR コードから接続した場合は、自動でコードが入力されます。



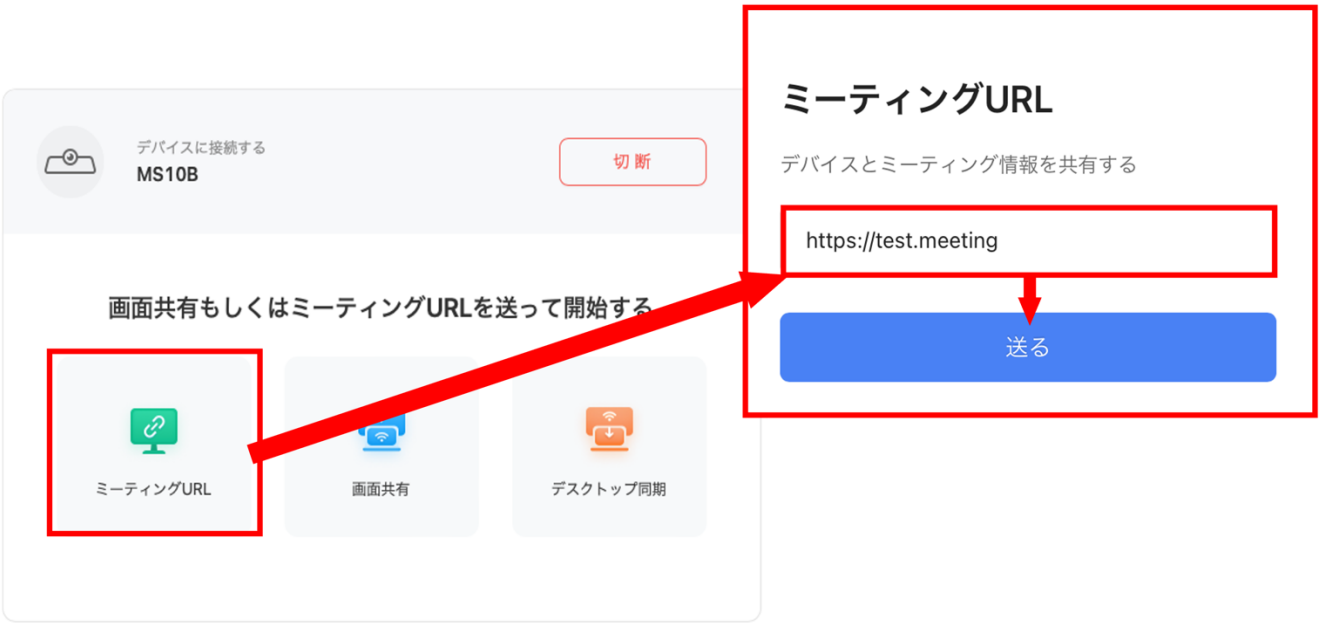
利用手順 3

接続が完了すると、以下の画面が表示されます。



① **ミーティング URL 送信機能**

WEB 会議の URL を本機に送信できます。送信された URL は本機の既定のブラウザで開かれます。



ミーティング URL 送信手順例

1) 本機に接続後、「ミーティング URL」を選択します
2) WEB 会議の URL を入力欄に「コピー＆ペースト」します
3) 「送る」を選択します
4) 送信された URL が本機の既定のブラウザで開かれます

② 画面共有機能

PC の映像を WEB ブラウザ経由で本機へ画面共有できます。

備考 1：PC（Windows OS・Mac OS）のみ対応しています。スマートフォン・タブレット（iOS・Android・Chrome OS）は対応していません。

備考 2：PC と本機は同一 LAN に接続されている必要があります。また端末同士の通信が制限された LAN 環境ではご利用いただけません。

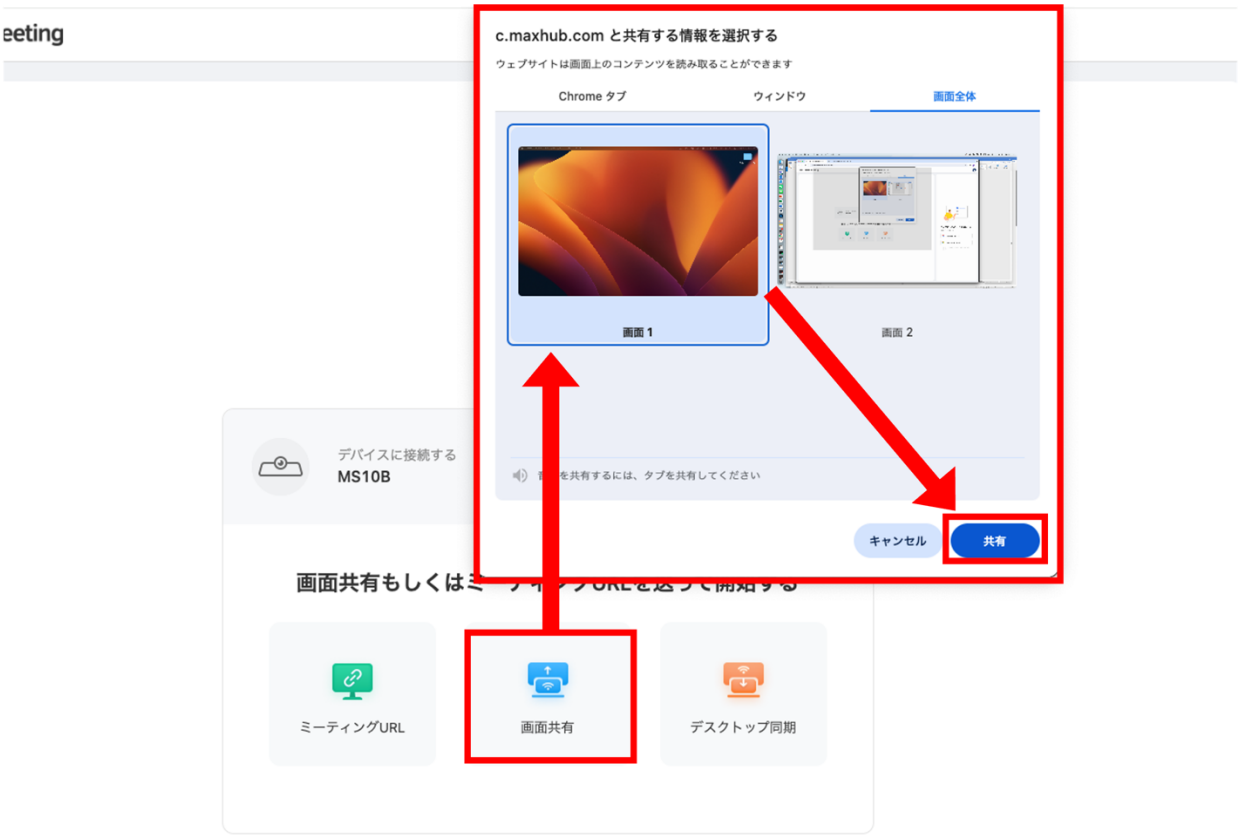
備考 3：複数 PC からの同時画面共有は対応していません。

備考 4：タッチバックには対応していません。

備考 5：使用 OS・ブラウザによって手順が異なる場合があります。

画面共有手順例（Windows 11, Google Chrome 使用時）

1) 本機に接続後、「画面共有」を選択します。
2) 画面共有するコンテンツを選択します。
3) 「共有」を選択します。
4) 本機に PC の映像が画面共有されます。



③　デスクトップ同期

本機の映像と操作をブラウザ経由で行えます。

1)　本機に接続後、「デスクトップ同期」を選択します。

2)　Google アカウントもしくは、Microsoft アカウントでログインします。

3)　ログイン後、もう一度「デスクトップ同期」を選択すると、同期されます。

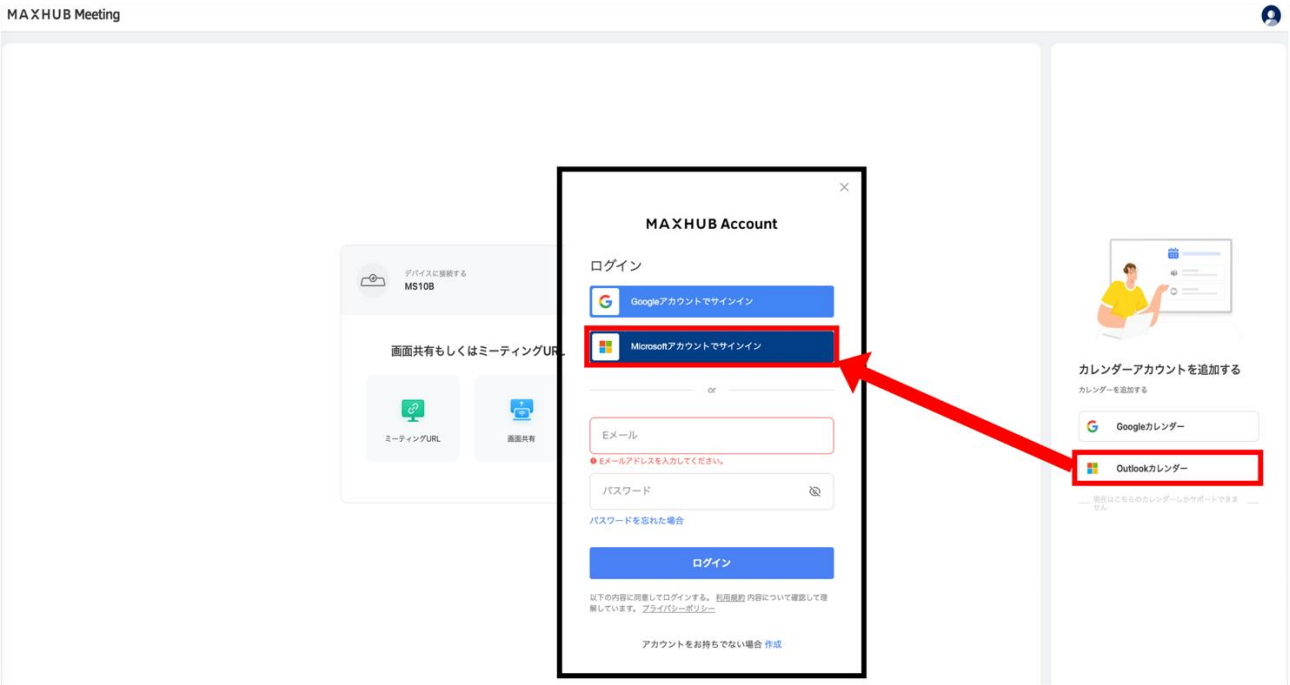
④　カレンダー連携機能

MAXHUB Meeting に連携したカレンダーに登録されている WEB 会議の URL を本機に送信できます。

カレンダー連携設定例（Outlook 使用時）

1)　「Outlook カレンダー」＞「Microsoft アカウントでサインイン」を選択します。

2)　連携したい Outlook カレンダーの Microsoft アカウントでログインします。
（初回のみアカウントの作成が必要になります。）



3)　ログイン後、連携したカレンダーの予定が表示されます。

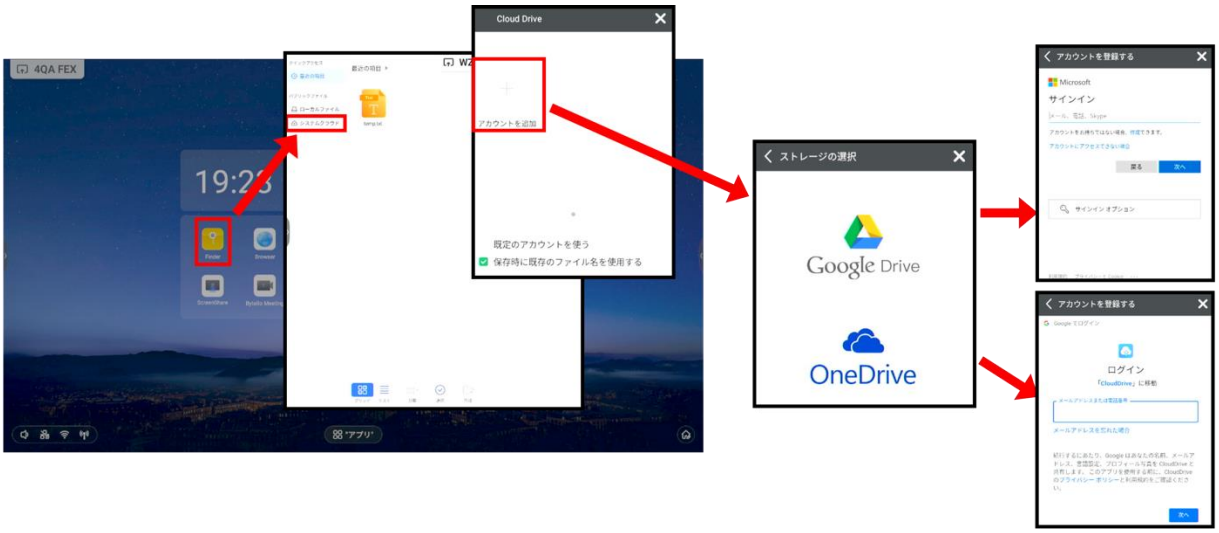
4)　「WEB 会議の予定」を選択して「OK」を選択すると、
本機の既定の WEB ブラウザで指定の URL が開かれます

備考：「WEB 会議の予定」として MAXHUB Meeting に表示するには、
カレンダーアプリで予定を作成する時「場所」にミーティング URL の情報が入力されている必要があります。

クラウドドライブ：連携設定

① 連携

1) 「Finder」を開きます。
2)「システムクラウド」を選択します。
3)「アカウントの追加」を選択します。
4)「Google」「One Drive」を選択します。
5) ログインを行います。



② 解除

1）「Finder」を開きます。

2）「…」を選択します。

3）「登録」を選択します。

4）登録解除したいアカウントを選択します。

5）右上「🗑」を選択します。

6）よければ「OK」を選択します。

ScreenShare：画面共有の設定

1) スマートフォンでは QR コードを読み込み、PC では URL から「MAXHUB Share アプリ」をダウンロードします。

2) アプリを起動後、画面に表示されている接続コードを入力します。

「⚙」を押すと、設定を表示させることができます。

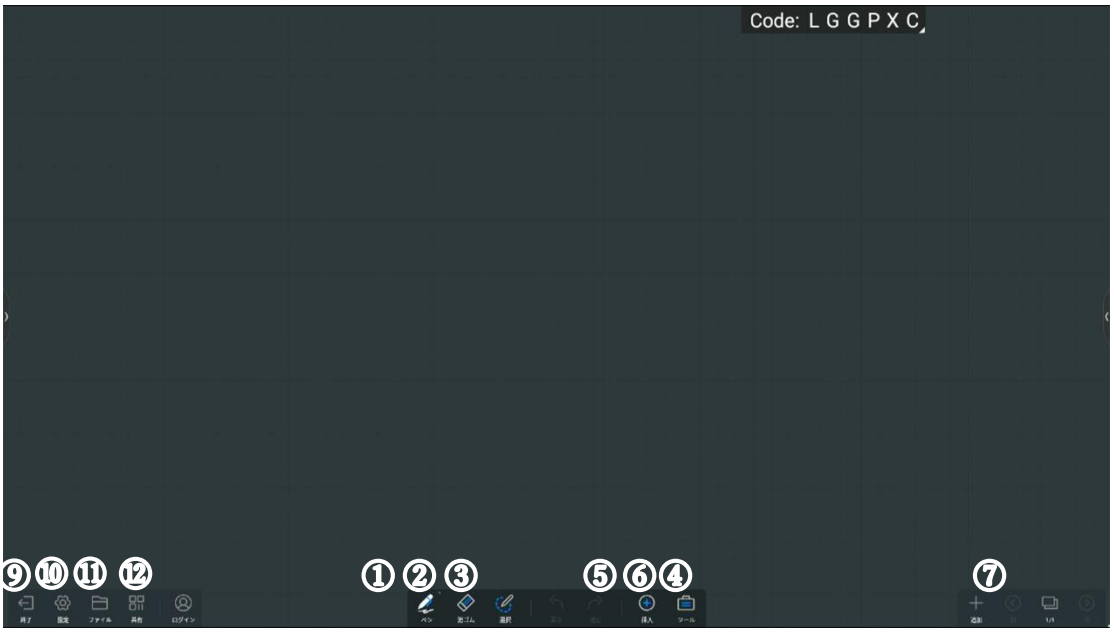
項目	機能
LAN ディスカバリー	有効にすると、画面投影や Airplay を利用する際、LAN 経由で Sound bar Pro が検出できるようになります。
近くのデバイス発見	有効にすると、画面投影アプリの「付近の MAXHUB」機能を使用した際、 この Sound bar Pro が検出できるようになります。
HD 共有カメラ	BYOM 利用時、接続先のカメラが 1080P に対応していると、1080P の解像度で映像を取得できるようになります。

ホットスポットパブリック	有効にすると、ホットスポットのパスワードを表示できます。
自動フルスクリーン	有効にすると、Sound bar Pro が接続されているモニターのアスペクト比に合わせて画面表示を引き伸ばします。
ドングルが加速します	OFF にしてワイヤレスドングル（WT13M）をペアリングすると、ワイヤレスドングルをネットワークアダプターとして認識しないように設定できます。
接続検証	有効にすると、画面投影アプリか Airplay を使用してこの Sound bar pro に接続する際、認証コードの入力が必要になります。
共有抹消検証	有効にすると、MAXHUB のデバイス(カメラ)をデバイス共有で利用する際、認証コードの入力が必要になります。
リモートコントロールの確認	有効にすると、画面投影アプリを使用してこの Sound bar Pro をリモート制御する際、認証コードの入力が必要になります。

ホワイトボード機能

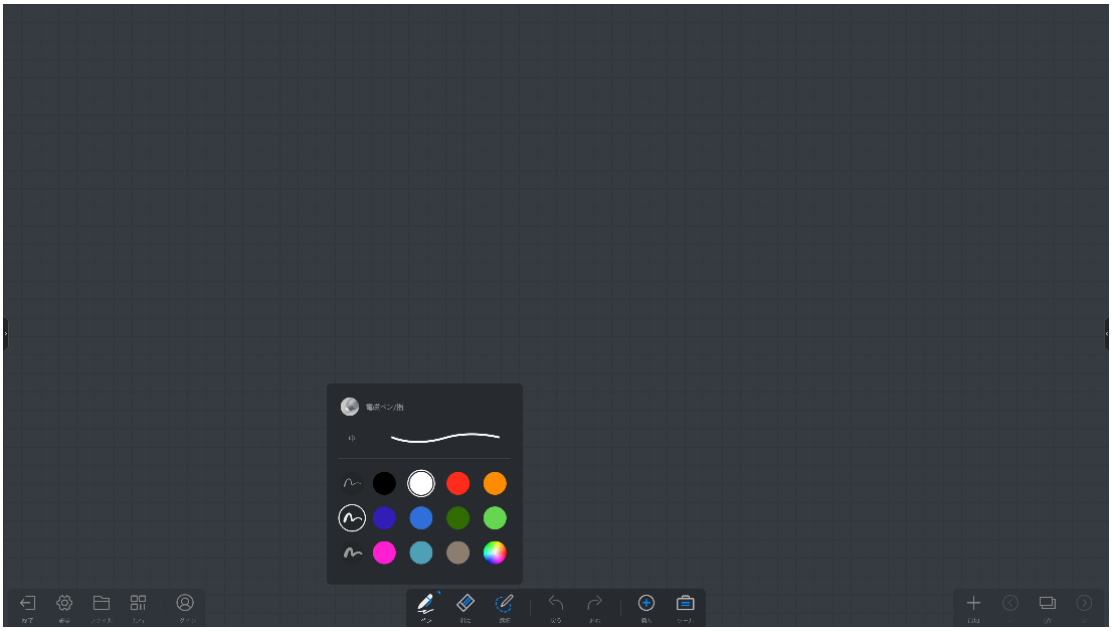
備考：ホワイトボード機能はホーム画面＞アプリ一覧から起動してください。

また、アプリの表示（P26）からホーム画面に追加できます。



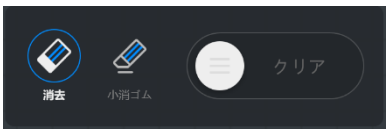
① ペンモード

ペンの種類、色等が選択できます。



② 消しゴムモード

消しゴムの大きさを選択して部分消去、またはクリアで全消去ができます。



③　選択モード

選択部分の移動、縮小拡大、コピー、削除をすることができます。

④　「戻る」／「進む」ボタン

「戻る」で直前の操作に戻り、「進む」で直後の操作に戻ります。

⑤　挿入モード

マルチメディアファイルや図形、表等を挿入することができます。

・ファイル…　PDF、Word、PowerPoint 等（Word、PowerPoint は Microsoft office が必要）

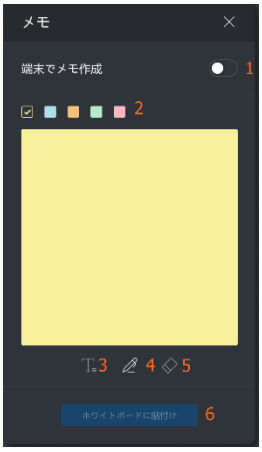
・マルチメディア… mp3, mp4 等（その他一般的な音楽、動画ファイル）

⑥　ツール

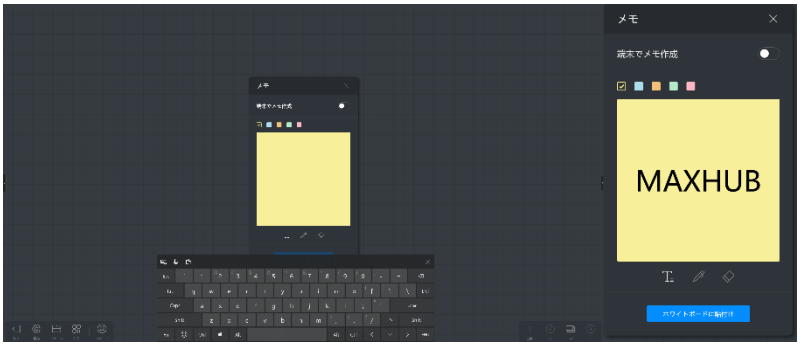
メモ、タイマー、投票、ホワイトボード共有を起動できます。

【メモの貼り付け】

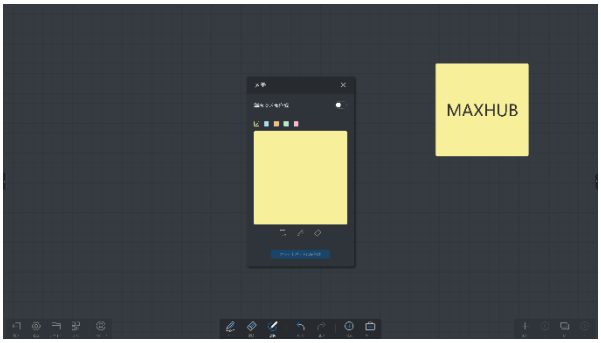
ホワイトボード上、またはスマートフォン等で QR コードを読み込み、メモを貼り付けできます。



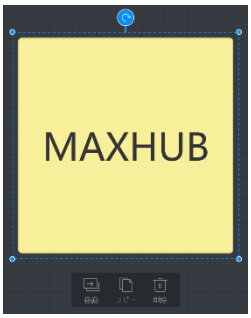
＜ホワイトボード上で作成→貼り付け＞



1)　テキスト入力か、ペンで書き込み。



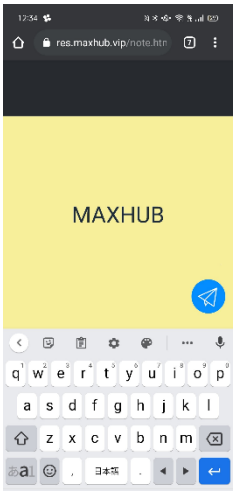
2)　[ホワイトボードに貼付け]を選択して、ホワイトボードへ貼り付け。



3)　貼り付けたメモを選択すると、移動、コピー、削除が可能。

＜スマートフォン等で作成→転送＞

1) [端末でメモ作成]を ON にすると、QR コードを表示します。
2) スマートフォン等で QR コードを読み込むと、入力画面を表示します。
3) テキストを入力し、 を押すと、ホワイトボード上に転送されます。



【ホワイトボード共有機能】

遠隔地の MAXHUB 製品（オールインワンミーティングミーティングや Sound bar Pro）と通信し、相互にホワイトボードの編集を行えます（音声通話機能付）。

- 機能の使用にはネットワーク環境が必要です。
- ログイン不要で最大 4 台の接続が可能です。
- 共有終了後も、各デバイスには編集したデータが残ります。
- ホワイトボード共有中は、スマートモードなどの一部機能の利用が制限されます。

● 使用手順

ホワイトボード＞ ツール＞ ホワイトボード共有＞ 作成もしくは参加を選択すると、
ホワイトボード共有が開始されます。

A) 共有グループを作成した場合

共有グループを作成後、画面左上に参加コード(8 桁)が表示されます。
共有グループに参加するユーザーに参加コードを共有してください。

B) 共有グループに参加する場合

参加コード(8 桁)を入力してください。

共有開始後、コントロールパネルは画面右に、ビューは画面右下に表示されます。

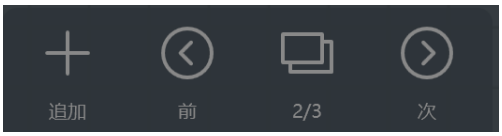
a) コントロールパネル

共有グループの終了と退出、マイクのミュートとミュート解除の操作ができます。

b) ビュー

ホワイトボード全体を確認できます。

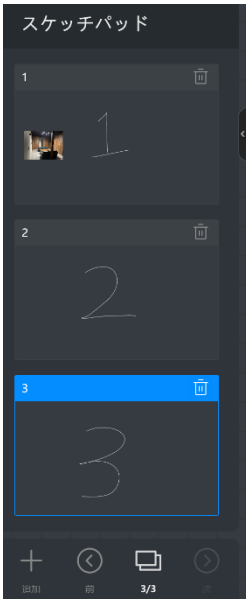
⑦ ページの追加、移動、一覧を表示できます。



＋追加…ページを追加

＜前…前のページを表示

…ページの一覧を表示



＞次…次のページを表示

⑧　終了

ホワイトボード機能を終了します。

⑨　設定

ペンの設定や背景の設定、QR コード共有の設定をすることができます。

【ペンの設定】

・　筆ペンモード　：　ON にすると筆で書いた文字のように表示されます。

・　マルチライティング：　ON にすると複数人での書き込みができます。(最大 20 人)

・　スマートモード　：　ON にすると書いた図形が自動で補正されます。

【スキャンコード】(QR コード共有の保存オプションを選択)

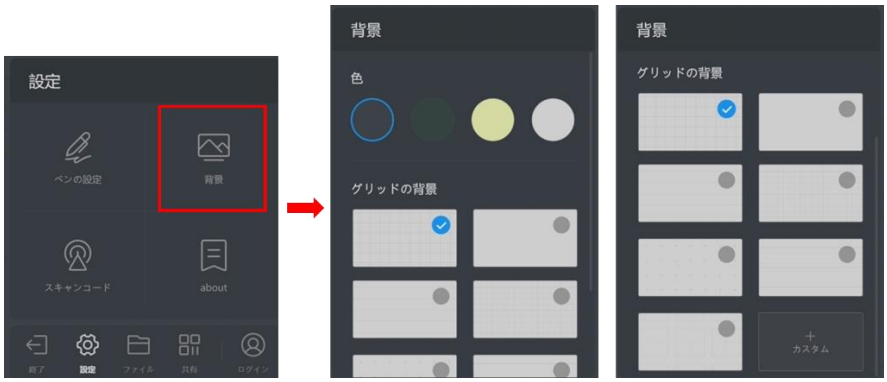
・　クラウドサーバー経由：　ON　にするとホワイトボードの内容をネットワーク経由で保存できます。遠隔地からでも保存が可能です。(保存形式：JPEG)

・　LAN　モード　：　ON　にするとホワイトボードの内容を保存できる端末が、「同一ネットワーク内にある端末」もしくは「本機のホットスポットに接続している端末」に限定されます。

(保存形式：PDF)

【背景】

ホワイトボードの背景・グリッドの変更、また任意の背景に変更できます。

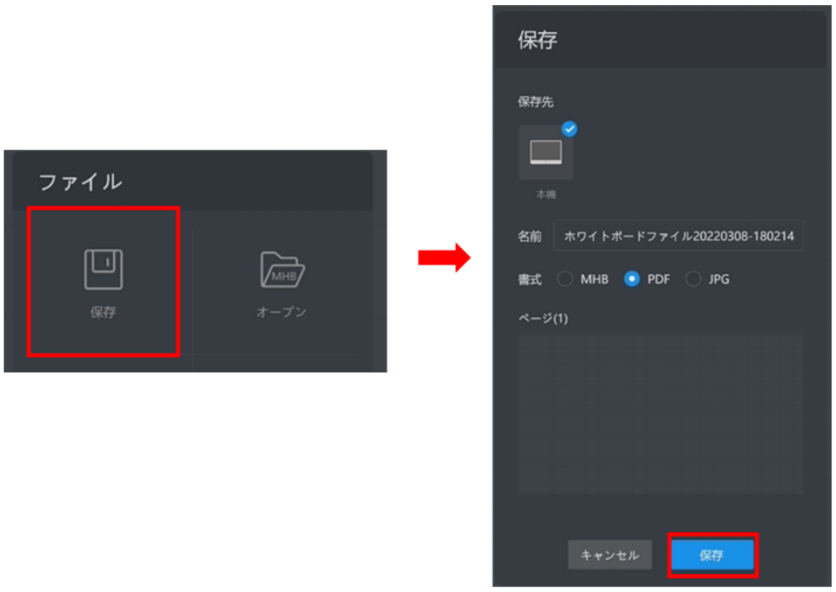


⑩　ファイル

ホワイトボードの編集内容の保存やデータ挿入ができます。

【保存】

編集した内容を保存できます。保存先：「本機」を指定した場合、マイドキュメントに指定されているフォルダに保存されます。他に USB メモリや、連携したクラウドに保存できます。



保存形式：PDF、JPG、MHB（ホワイトボード専用の形式。続きから編集が可能）

【オープン】

保存した MHB ファイルを開き、編集を再開できます。

⑪　共有

スマートフォンなどで QR コードを読み込むと編集内容の保存が出来ます。

設定で「クラウドサーバー経由」を選択している場合、「ファイルの暗号化」を使用して、

パスワードを設定できます。

設定：Sound bar に関する設定

① 「ワイヤレス&ネットワーク」

1.WI-Fi：無線接続の設定ができます。

2.イーサネット：有線接続の設定ができます。

3.ホットスポット：ホットスポットの設定ができます。

備考：ワイヤレスドングルを使用する場合は必ず ON にしてください。

4.VPN：VPN の設定ができます。

② 「パーソナル設定」

1.壁紙：本機のホーム画面の壁紙の設定ができます。

2.スクリーンセーバー：スクリーンセーバーの設定ができます。

3.ランチャー：ホーム画面のランチャー設定ができます。

③ 「入出力」

1.スピーカー：出力設定や音量テストができます。

2.マイク：入力設定やマイクのテストができます。

④ 「アプリケーション」

1.アプリケーション：本機インストールされているアプリの管理ができます。

⑤ 「システム」

1.日付と時刻：日付と時刻・タイムゾーンの設定ができます。

2.タッチサウンド：タッチ、クリックオンの設定ができます。

3.言語&キーボード：表示言語とキーボードの設定ができます。

4.地域：地域の設定ができます。

5.ストレージ：ストレージの利用比率確認とデータのクリーンアップができます。

6.システムアップデート：システム更新について確認できます。

7.画面共有コードウィンドウ：画面共投影に必要な 6 桁の PIN コードを常時表示の有無が設定できます。

8.認証情報の設定：資格情報、証明書等をインストールできます。

9.ユーザー・エクスペリエンスの向上：統計データの提供有無の設定ができます。

⑥　「管理者」

1.管理者パスワードの設定：設定を開く際のパスワードを設定できます。

2.ファイルを自動的に削除：定められた期間を過ぎた場合、自動的に削除されます。

3.セキュリティロック：設定ロック、ネットワークロック、USB ロック、不明なソースからのインストール許可が設定できます。

⑦　「アバウト」：本体の詳細を確認できます 。

ユーザーサポート 窓口

・メールアドレス：qa@nicemobile.jp

・お問い合わせフォーム：https://nicemobile.jp/contact/

受付時間　月～金 9:00～17:00（祝日・年末年始除く）